

# 受け忘れはありませんか？ 特定健診とがん検診

子宮・乳・大腸がん検診無料クーポン券を一定の年齢に達した方にお送りしています。  
まだ、ご利用されていない方は、下記の日程を参考にお申込みください。

※利用できる無料クーポンのマーク **子宮** **乳** **大腸**

## 巡回ドック・フレッシュ健診

**大腸**

町内に検診車がきます。

### ▼種類

- ◎巡回ドック（町国保・生活保護世帯の方のみ）：  
特定健診、胃・肺・大腸がん、肝炎ウイルス検診
- ◎フレッシュ健診：フレッシュ健診、胃がん検診

### ▼場所・日程

- 西コミ 平成 25 年 1 月 23 日（水）
- ゆとろ 平成 25 年 1 月 24 日（木）・25 日（金）

### ▼受付時間 7 時 30 分～9 時 30 分

## 胃・肺・大腸がん検診

**大腸**

町内に検診車がきます。

### ▼種類 胃・肺・大腸がん検診

### ▼場所・日程 ゆとろ 平成 25 年 1 月 18 日（金）

### ▼受付時間 7 時 30 分～9 時

## バス送迎検診

**子宮** **乳** **大腸**

バスでがん検診センターへ行きます。

### ▼種類

特定健診、胃・肺・大腸・子宮・乳がん、  
骨粗しょう症検診

### ▼集合場所・日程

- 西コミ 平成 25 年 2 月 5 日（火）
- ゆとろ 平成 25 年 3 月 8 日（金）

### ▼受付時間 7 時 55 分～8 時 10 分

### ▼実施機関 北海道対がん協会札幌がん検診センター

## 個別検（健）診

個別に予約し、検診が受けられます。

### ▼実施期間

平成 25 年 3 月 31 日（日）までの検診機関実施日

### ◎町内医療機関（22 ページ健康ひろば参照）

特定健診、後期高齢者健診、基本健診、肝炎ウイルス検診

### ◎北海道対がん協会札幌がん検診センター **子宮** **乳** **大腸**

特定健診、胃・肺・大腸・子宮・乳がん、骨粗しょう症検診

### ◎江別市立病院 **子宮** **乳**

特定健診、子宮・乳がん検診

### ◎北海道医療大学病院 特定健診

### ◎札幌厚生病院健診センター **子宮** **乳**

人間ドックで特定健診、各種がん検診

\* 受診を希望される方は受診票、受診券など発行するものがありますので事前にお申込みください。

\* 当別町国保加入者の方への特定健診受診券の有効期限は、平成 25 年 3 月 31 日（日）です。

\* 年度末は混み合いますので、お早めにお申込みください。

検（健）診の種類	保険種別	対象年齢	検査方法	一般・後期高齢者医療	当別町国保
胃がん検診	健康保険の種類に関係なく、対象年齢の方はどなたでも受けられます	35 歳～	胃バリウム検査	1,600 円	900 円
肺がん検診		40 歳～	胸部レントゲン	500 円	300 円
大腸がん検診		40 歳～	便潜血検査	800 円	500 円
子宮がん検診		20 歳～	頸部細胞診	1,800 円	1,000 円
乳がん検診		40 歳～	マンモグラフィー 2 方向、視触診	2,200 円	1,200 円
		50 歳～	マンモグラフィー 1 方向、視触診	1,900 円	1,050 円
骨粗しょう症検診		30～59 歳女性	骨量測定	500 円	300 円
肝炎ウイルス検診	40 歳～	血液検査	600 円	300 円	
フレッシュ健診	18～39 歳	身体計測、血圧測定、血液検査など	1,500 円	1,000 円	
特定健診	当別町国保	40～74 歳		—	700 円
後期高齢者健診	後期高齢者医療加入者のみ			600 円	—
基本健診	生活保護世帯	40 歳～		無料	—
人間ドック	当別町国保	30～74 歳	特定健診と各種がん検診	—	15,000 円の助成

▼申込み 巡回ドック、特定健診、後期高齢者健診…住民課国保・後期高齢者医療係（☎ 23 - 4044）

フレッシュ・基本健診、各種がん検診、肝炎ウイルス検診…福祉課保健サービス係（ゆとろ内・☎ 23 - 2346）

# 平成 24 年度当別町政策評価委員会による外部評価結果

今年度の外部評価では、4つのテーマを評価対象として選定し、住民の視点からの評価を実施しました。

▼問合せ 美しいまちづくり課総合調整係 (☎ 23 - 2393)

## 1 農と観光の連携

### 【PR・情報発信について】

・町外への情報発信力が非常に弱い。マスメディアへイベント情報を提供したり、電車の車内に特集広告を掲出するなど、当別の情報が多くの人の目に触れるようにするべき。

### 【ブランド創出について】

・当別は花卉栽培が全国的に有名であることから「花」をブランドとしてはどうか。  
・四季を通して出荷できるブランド作物を模索し、一年を通じて訪れる楽しさがある町となるように、連携・協議しながら進めるべき。

### 【農と観光の連携について】

・農と観光の連携には担当部署だけではなく、関係団体も含め、十分な連携が図られた形で取り組む必要がある。また、一年を通して継続的に取り組めるようにするべき。

## 3 住環境の向上と福祉の充実による 住みやすいまちづくり

### 【上下水道の整備について】

・上下水道などのライフライン整備は莫大な費用がかかるため合理的に進めていかなければならない。また、中長期的な視点で良好な事業運営をするために、住民から十分な理解を得られるような説明の仕方を考慮していくべき。

### 【高齢化と住宅・除排雪対策について】

・現在策定中の「当別町住宅マスタープラン」は、長い将来を見越して判断することが必要。  
・高齢者にやさしいまちづくりを目指すため、住宅施策や除排雪施策に対しては、これまで以上に積極的なサービス向上を目指すべき。

## 2 移住促進事業と観光振興

### 【移住促進施策の点検について】

・「観光」のための施策と「移住促進」のための施策は異なる。現在実施している事業の目的を再確認することが必要ではないか。

・移住促進には住環境の整備が不可欠。しかし、基本的な環境を整える経費を「マイナスの部分」として認識していることに対して意識改革が必要。長期的な視点で、移住しやすい環境をどのように整えるか模索するべき。

・町民と行政が一体となり、「当別」に愛着を持ってまちづくりに取り組んでいってほしい。

### 【子育て世代を対象とした移住促進施策について】

・移住促進策はターゲットを明確化し、道内外問わず子育て世代が移住するような施策を打ち出すべき。

## 4 教育、子育てから見る少子化対策

### 【少子化対策について】

・少子化のスピードはかなり速く、当別町独自のポイントを絞った取り組みや大胆な施策を打ち出すこと。  
・他の自治体にはない育児支援体制を打ち出し、移住促進施策と連動した中で、子育て世代が安心して住めるまちづくり、住みやすい環境づくりが早急に必要。  
・JR 学園都市線の電化を最大限活かした少子化対策として、通勤・通学などの利便性の向上を追求し、町内外に積極的にPRすることが必要。

### 【具体的な施策について】

・少子化対策には、他市町村にはない、目に見えるようなわかりやすい施策が必要。大胆な施策を思い切って実施するような姿勢が、町外の子育て世代に対してアピールする上でも重要。

## 総括

- ・成果とその経過を町民の目線でわかりやすく説明し、積極的に啓発に努めていく姿勢が重要。
- ・施策によっては部署の垣根を取り除き、町が一丸となって課題解決に取り組むべき。
- ・小さな取り組みでも、中長期的な視点を持って町の将来を見据えながら各施策を推進するべき。
- ・地域活性化には、各分野が連携することを重要視し、アイデアをコンペ形式で募ったり、その分野の「プロ」にコーディネートを依頼するなど、これまでになかった取り組みをするべき。